

咲洲庁舎は工事ラッシュ

長周期地震動追加対策工事 エレベーター工事(ホテルもまだ工事中)

府職の友 本庁ニュース

発行
大阪府職労
内線3746

11月28日、午前中は本庁安全衛生委員会、午後から咲洲全衛生委員会がありました。安全衛生委員会がありました。職員健康管理事業の実施状況報告、産業医による保健指導等の過重労働対策実施状況、本年度半年間の部局別時間外勤務実績も前年度と比較して報告がありました。

今回、咲洲庁舎では、長周期地震動追加対策工事の説明もありました。南海トラフ地震の備えについて国の基準が変わり、M9クラスの対策が必要のため、既存の制震ダンパー(M8クラス対策)に加えて、制震ダンパー・柱補強等の工事を行うということです。

工期は、10月28日から令和4年3月15日。工場で、ダンパーを製作するのに一年ほどかかるのかで、ダンパー工事は来年の秋になるとか。今月以降は、39階に現場事務所開

設工事を行い、1月28日に入居部局に工事説明会をするそうです。

以前にも低層階を中心に耐震工事をして、ダンパーが設置されましたが、そのころは、低層階は空き室が多かったのですが、今回はホテルが入居しているので、作業時間に苦慮している様子がうかがえました。

フロアの四隅に囲いをしてダンパー設置工事を行うため、会議机や書棚等を代替場所に移す必要があります。すでに2年前に所属と庁舎整備課が個別に調整がされ、女子更衣室も工事業者が入りすることに。21階22階の環農部と、26階27階住まちは、更衣ロッカーを28階に集約する調整がされています。

耐震工事以外に、今咲洲庁舎はエレベーター工事が行われています。職員の利用が一番多い第2バンク6台の内3台が工事で停止しています。出勤時だけでなく昼休みの混雑ぶりは尋常ではありません。安全衛生委員会で、「最新シ

パンチ島田の
さすらい放湯記
421
通算521

美肌の湯
花湯スパリゾート

高水準の日帰り温泉が覇を競う埼玉県の平野部。そんな激戦区に、日本一かと思える存在が二年半前に出現した。東京ドームの半分もある広大な敷地に高級旅館を思わせる門構え、至れり尽くせりの様々な施設と設備、そして、県内最大を誇る湧出量を活かした全て源泉かけ流しの温泉。池泉回遊式庭園の露天風呂にあ

る檜風呂には加温なしの「生源泉」が溢れる。微かな硫化水素臭と気泡のある淡黄色の湯に万歳!

※温泉情報
①入浴施設・〇四八(五〇一) ①一六②埼玉県熊谷市上之一〇〇五(JR上越新幹線熊谷駅から国際十五バスで「宿裏」下車徒歩三分) ③七百五十円(土日祝百円増) ④低張性・弱アルカリ性・温泉・単純温泉、筋肉痛・神経痛など

(島田祐輔)

http://hanayuspa.jp/

水曜日は
一残業
自分の健康と家族のために
定時に帰らしましょう!

steamはどうなるのか残りのEVの工事の予定は」と質問がありました。技術的なことなので、この日は回答はもらえませんでした。昼休みにお

弁当を買いに下へ降りて上がるのに15分もかかります。朝夕の出勤時に加えて昼休みも異常なラッシュ地獄。工期は来年3月20日迄です。